

様式第1号（第5条関係）

会議概要

会議の名称	平成27年度第1回久喜市生涯学習推進会議
開催年月日	平成27年7月28日（火）
開始・終了時刻	午前10時 から 午前11時53分 まで
開催場所	菖蒲総合支所4階 第5集会室
議長氏名	平 忠昭
出席委員（者）氏名	明石實正、梅原克彦、金子雄司、斉藤駿、原嶋憲二、 鈴木多美子、平 忠昭、田邊喜代子、田沼勝子、中里厚子、 野口和子
欠席委員（者）氏名	飯島栄治、榎本英明、木村善二、白石安男、帯津嘉二、 富澤博子、河原塚努、松永康、倉持良幸
事務局職員職氏名	宮内参事兼生涯学習課長、朝武生涯学習課長補佐、堤生涯学 習係長、岩井主査
会議次第	（1）生涯学習推進計画まなびすとプラン進捗状況について
配布資料	・久喜市生涯学習推進計画進捗状況
会議の公開又は非公開	公 開
傍聴人数	0 人

様式第2号（第5条関係）

審議会等会議録

発 言 者	会 議 の て ん 末 概 要
司会 堤生涯学習係長	<p>< 開 会 ></p> <p>皆さん、おはようございます。定刻になりましたので、ただ今から、平成27年度第1回久喜市生涯学習推進会議を開催させていただきます。本日はご多用の中ご出席をいただきましてありがとうございます。本日の司会進行を努めさせていただきます、生涯学習課の堤と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>本日の欠席者でございますが、倉持委員、白石委員、帯津委員、河原塚委員、松永委員につきましては、所要のため、欠席する旨の連絡をいただいておりますので、報告させていただきます。まだ数名の委員さんが見えになっていませんが、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第2項の規定に基づき、委員の過半数を超えましたので、会議が成立いたしましたので、進めさせていただきます。本日の資料の確認ですが、次第と久喜市生涯学習推進計画進捗状況「つなぐ」でございます。また、委員さん全員に社会教育3団体合同研修会通知、まなびすと久喜、「夏休みですご一緒にどうぞ」という人権教育推進の冊子がございます。また、今年の4月に人事異動に伴いまして、末田幸治委員が、教育委員会指導課へ異動となりました。清久小学校校長の帯津嘉二先生が後任の委員として選出されております。また、細田清委員が今年の3月31日をもって久喜高校の校長職を退職されまして、後任として、久喜高校校長の河原塚努先生を選出いただいております。ご紹介する予定でございましたが、本日お二人とも公務のため欠席ですので、ご報告のみとさせていただきます。それでは最初に、平議長からご挨拶をいただきたいと思います。</p>
平議長	< あいさつ >
司会 堤生涯学習係長	ありがとうございます。続きまして、教育部参事宮内生涯学習課長より挨拶を申し上げます。
宮内生涯学習課長	< あいさつ >
司会 堤生涯学習係長	<p>本日の会議は、久喜市審議会等の会議の公開に関する条例により、原則公開とさせていただきます。また、会議録を作成し、市のホームページで公開となりますので、よろしくお願い致します。それでは、式次第に従いまして進めさせていただきます。議題に入る前に、平成27年度の人事異動に伴い、教育委員会におきましても、職員の異動がございましたので、異動がなかった職員も含めて自己紹介をさせていただきます。まずは、宮内課長からお願いいたします。</p>
	<生涯学習課職員自己紹介>
司会 堤生涯学習係長	以上、生涯学習推進会議事務局でございます。よろしく願いいたします。それでは、早速議題に入ります。議事の進行につきましては、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第1項の規定により平議長にお願いいたします。
平議長	それでは、この生涯学習推進計画進捗状況の資料に基づきまして、進めさせていただきます。それでは事務局から説明をお願いいたします。

朝武生涯学習課長補佐

はい、それでは私のほうからご説明をさせていただきます。皆様方は2年目に入りまして、第1回目に「まなぶ」という部分で進捗状況を話し合ってくださいました。また、3月には「いかす」という部分でも話し合ってくださいました。特に「まなぶ」では、理科的な部分のアプローチであるとか、市大、高大の参加者を増やすためとか、安全、安心な街づくりのためであるとか、家庭教育や親子、青少年のことを考えたらどうだとか、皆様方からご意見をいただきました。また「いかす」につきましても、この推進計画をどのように市民の方々に知らせていったらいいのか。また、趣味での社会教育と、社会貢献での社会教育についてもご意見をいただき、人材バンクの充実であるとか、きっかけ作りが大事だというご意見をいただいたところでございます。それに引き続きまして今回は、「つなぐ」でございます。この後、任期後半には推進計画のなかの「ささえあう」までいきましたら、なんらかの答申ができるのではないかと、ご意見がまとまるのではないかと思います。実は、話に入る前に、青森県の野辺地町から小学生20人以上が本市にまいります。今日から3日間久喜市で交流をいたします。また、中学生は今日からアメリカのローズバーグへ久喜市から派遣をいたします。このようにさまざまな施策を実施しているわけでございます。それでは、この推進計画「つなぐ」をご覧いただければと思います。では、1つ目の施設のネットワークでございますが、まず、学校体育施設の開放と活用というところですが、本市では全小中学校が学校開放を実施しておりますし、また、余裕教室、特別教室等で放課後子ども教室をはじめとして、さまざまな活動で開放しているところがございます。また、総合型地域スポーツクラブの創設、スポーツコミュニティ久喜東の支援、生涯学習施設の整備というところで、ここにありますように郷土資料館、図書館、教育施設に関しましては、出来るだけ使いやすいように、改修等も進められておりますし、事業等も進めております。特に体育施設につきましては、そこには未実施と記載されておりますが、ある程度の整備がされているとお考えいただいてもいいのかも知れません。しかし5番の複合施設の調査研究については、まだまだ進んでいない状況でございます。続いて、学校と生涯学習施設の連携と有効活用でございますが、そこにありますように社会福祉課については、今後の検討、介護福祉課については、いきいきデイサービス事業といたしまして、太田小学校、青毛小学校、本町小学校を会場として、交流イベントを実施するなどしているところがございます。また、生涯学習課として、学校開放事業として、桜田小学校の元気ルーム、上内小学校のふれあいルームの解放をしているところがございます。また、学校図書館と市立図書館との連携も進めているところがございます。指導課の関係しているところ、中央図書館の関係しているところも進めているところがございます。3ページをご覧ください。生涯学習関連施設有効利用の推進というところで、生活安全課、生涯学習課、中央公民館、中央図書館、文化財保護課でそれぞれ促進を進めているところがございます。ご覧いただければおわかりいただけると思います。また、4ページの4番の子どもをサポートする事業の充実については、子育て支援課、児童センターでは、小学生を対象とした宿泊キャンプ、生涯学習課では子ども大学くき、中央公民館では98の事業のうち、子どもを対象とした12の事業、または親子を対象とした事業もしております。また、中央図書館におきましても、1日図書館員であるとか、夏休み子ども科学あそび等の実施をしています。大きく施

設のネットワークについては、ここに上げたとおりとなっております。5 ページにあげた事業のネットワークでございますが、学校教育と社会教育の連携ということで、1 番の学校応援団については、話し合いがあった部分でございますが、すべての小中学校で学校応援団が組織され、それぞれ活動を行なっているところでございます。2 番の学校と社会教育関係者と地域住民からなる会議でございますが、現在、太東中学校、太田小学校にコミュニティスクールに移行するための研究委嘱をお願いし、コミュニティスクールの準備委員会を立ち上げて、地域の方々と学校関係者、社会教育関係者で話し合いが始まったところでございます。太東中学校区におきましては、平成 28 年度に、コミュニティスクールへの移行を目指して、調査研究を進めているところでございます。続きまして高等教育機関などの活用でございます。ここが、本市で一番頭が痛いところでございますが、子ども大学くきにつきましては、今年度も実施する予定でございますが、ここに書いてありますのは、昨年度の実施の状況でございます。4 日間実施をいたしました。また、その後、大学の公開講座の活用、大学生と地域住民との交流促進、ここにあるようなことでございますが、東京理科大学の久喜キャンパスの移転に伴い、理科大生との交流は年々薄くなってきているという感じがいたします。このあたりについても委員さんからのご意見をいただいて、どのようにするのがよろしいのかということ、話し合っていたきたいと思います。子ども大学くきにつきましては、久喜キャンパス移転後も引き続き、東京理科大のご協力をいただいて、実施をするという方向で考えているところでございます。続きまして、学習機会の連携でございます。特に、1 番の学習機会の広域化の推進、これにつきましては、近隣の市町との連携というところが、上げられているわけでございますが、まだまだ、充分ではないところでございますので、今後このあたりを考えていかなければなりません。2 番文化団体への育成とありますように、それぞれの文化団体へ、補助金を交付して、文化活動を育成しているところでございます。また、市民参加の推進につきましては、自治振興課でここにもありますように市民参加の作成及び実施状況の公表とか、市民参加推進員への情報提供でありますとかしているところでございます。7 ページの特に民間生涯学習施設の調査、連携というのも実際には未だ行なわれておりません。市内には多くの民間の学ぶ施設がございます。そういうところもご意見をいただきたいところでございます。その後の出前講座の充実のことでございますが、昨年度出前講座は全 52 回、1765 人のご参加をいただきました。今、28 年度の出前講座のリニューアルに向けて準備を進めているところでございます。3 番目に情報ネットワークでございます。本日お配りした、推進部が中心となつてつくっているまなびすと久喜の第 10 号、大変すばらしい情報誌を作ってください、本当にお礼を申し上げたいところでございます。生涯学習だよりを年 2 回発行しているというところで、学習情報の提供のひとつでございます。8 ページになりますが、人材ネットワークでございます。特に活動機会提供の充実ですが、特に生涯学習課では、まなびすと久喜、商工観光課では市民まつり、中央公民館ではそれぞれの事業ということででているところでございます。また先ほどお話ししました学校応援団につきましても多くの人材が活用されているところでございます。また 9 ページにつきましても、企業による学習支援の推進というところでございますが、まだまだ、このところは不十分な部分が多いかも

	<p>しれませんけれど、公民館として企業へ社会科見学に出かけるとかという、このような実施状況でございます。このあと、ぜひ皆様方から建設的な意見をいただきたいと思っております。そして具体的な方策を伺えれば、よりありがたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
平議長	<p>はい、ありがとうございました。詳しい現実がおわかりいただけたかと思っております。これを基にこれからホワイトボードに出ておりますグループに分かれて、協議をお願いいたします。</p>
斉藤委員	<p>その前に質問よろしいですか。4ページの4番子どもをサポートする事業の充実で、中央公民館の一番右下のEXとありますが、どういう意味でしょうか。</p>
朝武生涯学習課長補佐	<p>これは、例えばという意味です。</p>
平議長	<p>それでは、今のご説明に対してご質問はございますか。</p>
金子委員	<p>グループに分かれる前によろしいですか。合併して6年経って、そろそろ市の方で生涯学習推進月間を設けたらどうかということで提言がございまして。市の行事等見てみますと1月2月に公民館で発表会等いろいろなイベントがありますので、2ヶ月間を行政で進めていただいて冠大会になればということで、都市宣言だと難しいと思っておりますので、月間ということで進めていただけたらと思っております。</p>
平議長	<p>今のお話ですが、年が明けますと、まなびすと久喜がございまして。多くの市民の皆様が日頃の生涯学習の成果を発表するために一生懸命やられているところですが、その後図書館まつりとかいろいろなものができてきますが、市民の皆さんが1年を通じてやっていたものを、この時期をさらに盛り上げようというかたちで、生涯学習推進月間のその中のひとつだと思っておりますけれども、検討するのに価値があると思っております。急な話ではございますが。</p>
金子委員	<p>ひとつ考えていただいて、社会教育委員の会議にもかけなくてはならないし、教育委員の会議にもかける必要があるのでは、是非とも本年度中にこういう方向に進んでいっていただけたらと思っております。</p>
平議長	<p>事務局のほうでこのあと、社会教育委員の会議等もありますので、こういうタイトルを付けるということで盛り上げるということは教育委員会としては、いかがでしょうか。久喜の生涯学習はすごいということを市長はあちこちで宣伝しているらしいですから。</p>
金子委員	<p>例えばですね、7、8月は道路愛護月間とかありますけれど。生涯学習推進月間ということで、いかがでしょうか。</p>
平議長	<p>私としては、いいと思っておりますけれども。皆さんはいかがでしょう。生涯学習推進月間を設けるということで、大きく新しいものをやるのではなくて、その中にまなびすと久喜がありますよ、とか、公民館まつりがあるということで、生涯学習推進月間の一つとして、やるんだということで意味づけというものができるとは思いません。</p>
明石委員	<p>市として、1つのまとまりをつくるという意味では、いいのではないかと思います。単独だと声にならないよう気がします。</p>
平議長	<p>今は単独でやっていますがどうでしょう、考えていただくということでよろしいでしょうか。</p>

原嶋委員	そういったことになると生涯学習月間、生涯学習週間ということで、ポスター等にそういった名前を入れるということでしょうか。
金子委員	そうですね。例えば、まなびすと久喜でも久喜市生涯学習推進月間というタイトルがみえるだけでも違うんじゃないかと思います。
原嶋委員	そういう硬い言葉だけじゃなくて、その後に、皆で何々しようとか、もっと柔らかい言葉を使うと馴染むんじゃないでしょうか。
金子委員	そうですね、毎月の広報1月号もありますので間に合えば、そこでも掲載することもできます。
朝武生涯学習課長補佐	事務局がここで発言していいかわかりませんが、今、原嶋委員さんが言われたように名前のネーミングは考えた方がいいと思うんですね。例えば生涯学習のまち久喜 生涯学習推進月間とかこういうやわらかい言葉にして通常にありふれた推進月間じゃない名前にして、10月に4団体が集まるので、実際にこれを任命権者である市長のところであるアポを取っていただいて、それをある程度PRして、久喜市は1月2月が推進月間になったんだというこれは1つの例としてのお話ですけれども、それの方がいいんじゃないかと思うんですけれどもいかがでしょう。
平議長	そうですね。生涯学習推進会議、生涯学習推進部、社会教育委員でしょうか協議するのは。いわゆる冠を付けるということでしょうか。10月9日になりますでしょうか。3団体の会議というのは。
金子委員	ただこの日は、テーマが決められておりますので、この話ができるかどうか。ちょっと無理かも知れません。
平議長	それでは事務局、別の日に設定して、決めましょうということはどうでしょうか。
朝武生涯学習課長補佐	事務局が提案ではなくて、4団体で話しあうのでもなく、各団体に投げかけていただければいいのではないのでしょうか。そうすれば事務局が仲介できると思います。
平議長	わかりました。各団体に投げかけてみます。そこで検討していきたいということですね。
田沼委員	ちょっといいのでしょうか。推進月間をつくるということは、市民への啓発ということでもいいことだと思うんですけれども、ただ月間を作ってもそれにふさわしいイベントがどれくらい盛り込めるのかなということですね。先程からでております、まなびすと久喜、公民館まつり、ですね、ただ名前はつくりましたが、もっと市民にアピールできるようなふさわしいイベントというものを盛り込んでいく必要になるのではないかと思います。
鈴木委員	月間といっても、掛声だけで終わってしまうんです。以前から思っていたことがありまして、いろんなサークルでの体験参加を2ヶ月間受け入れることができるということではどうでしょうか。
金子委員	それも含めて社会教育と学校と連携協力していきましょう。社会教育だけじゃないのでね。
梅原委員	2月を推進月間にする事については、私は、賛成なんですけれども、例えば11月14日を県が県民の日にしてあります。秋というのは各地域がいろいろイベントを行なっているわけですね。学びのまち推進月間ということで各地域がやっていることで、いろいろ盛り上げてくれるんじゃないかなと思うわけです。

平議長	推進月間という冠を付けるという方向では、皆さん賛成だと思うんですが、どのようにやっていくのか、今日出たばかりですので、もっと煮詰めた状態でやっていくということで、今回これは終わりにさせていただいてもよろしいですか。
金子委員	はい、わかりました。次の社会教育委員の会議、生涯学習推進部の会議で月間について、皆さんに意見を伺っていただければと思います。
平議長	それでは、そこでもう少し煮詰めるということでもよろしいでしょうか。
原嶋委員	参考に行政のほうでそういう推進月間をやっているところがあれば、調べていただければと思います。
平議長	それでは、45分程度しかありませんが、グループに分かれてディスカッションをお願いできればと思います。
堤生涯学習係長	場所的には2つに分かれてAグループはももとの5人で、Bグループは6人をお願いいたします。
	<Aグループ、Bグループに分かれてグループディスカッション> Aグループ 明石委員、金子委員、斉藤委員、田邊委員、野口委員 Bグループ 鈴木委員、田沼委員、原嶋委員、梅原委員、平議長、中里委員
平議長	それではよろしいでしょうか、各グループごとに発表をお願いいたします。要点だけで結構です。
原嶋委員	はい、Bグループですが、いちばん先に出たのが、東京理科大の施設をどうするかということでした。予算の関係もあるので、生涯学習に関わっているものが、具体的に市民を巻き込んで施設を有効活用していかないといけないということで、また、市では久喜、菖蒲、鷺宮、栗橋4地区合同で地域会議というものがありますが、そこに生涯学習関係のものがいってお話をするというのもひとつの意味があるんじゃないかと思うんですが、この選考基準というものはどのようになっているのでしょうか。
朝武生涯学習課長補佐	地域会議の参加者の基準でしょうか、私もちょっとよく知りません。課長いかがでしょうか。
宮内生涯学習課長	そうですね。確かに立ち上がったとは聞いています。4地区合同でやったと聞いていますが、中身が見えてこないですね。
原嶋委員	他の問題もありますが、これからが、大きな我々の課題になってくると思うんです。生涯学習センターとかに結びついていけばいいかなと思います。
明石委員	Aグループで話題になったのは、月間をつくるのは問題ないが、活動している皆さんが言っていることを考えながら、そういう月間を設けていく。後は、Bグループと同じようにコミュニティ施設、学校体育施設、余裕教室をどのように有効利用していくほうがよいのか、こういう話題が出たんですけれども、コミュニティスクール、こういうのを学校単位でつくっていく、その拠点として東京理科大がセンター的施設になればいいよね、というまとめでございます。以上でございます。

平議長	<p>はい、そうしますと「つなぐ」という意味では活動拠点をどのようにいかしていくのかがA・Bとも話題になっていると思います。生涯学習を推進していく上では、重要になっていくということです。今の行政から考えてみても、誰も新しいものをつくるということは考えておりませんし、そうすると、理科大をはじめとし、小学校の空教室、余裕教室をどのように活用していくかが、これからの生涯学習の課題となってくるのではないのでしょうか、このようなまとめでよいのでしょうか。ほかになにかご意見はございますか。</p> <p>ないようですので、このまま4番にはいります。その他でございます。</p>
堤生涯学習係長	<p>平議長、議事進行ありがとうございます。事務局からその他ですが、まず、最初にお配りした社会教育3団体と公民館運営委員会との合同研修会が10月9日に午後1時半から始まりますとのご案内をさせていただきました。2番目に、未だお渡ししていない委員さんにこの赤い表紙のこれも社会教育3団体の報告書ということでお配りをいたしました。それと3番目に社会教育学習だよりまなびすと久喜の第10号、本日来ていただいております生涯学習推進部広報部の田沼会長を中心にご作っていただいたものです。全戸配布及び公共施設にも配布してございます。中身を見てもらいますとフォーラムの内容また、2月にまなびすと久喜が開催され、菖蒲文化会館アミーゴで行ないますので、こちらは生涯学習推進会議が主催となっておりますので、是非ご覧になっていただきたいと思います。それから、課長から、お話がございました、人権推進のチラシも付けてございますので、今一度お読みいただけたらと思います。それでは、全体を通して、何か皆さんからございますでしょうか。</p>
田沼委員	<p>生涯学習推進会議委員20人の内、今回何人連絡なく欠席されたのでしょうか。連絡があった方は何人でしょうか。</p>
堤生涯学習係長	<p>はい、連絡があった方は5人、残念ながら連絡なかった方は4人です。今度の会議は3月を予定しております。平議長と調整をしながら、進めてまいりたいと思います。全体を通しては、よろしいでしょうか。それでは、長時間にわたり、ご協議いただきありがとうございます。最後になりましたが、原嶋副議長からお言葉を願います。</p>
原嶋副議長	<p><閉会の言葉></p>
<p>会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためここに署名する。</p> <p>平成27年9月10日</p> <p style="text-align: center;">議 長 平 忠 昭</p>	